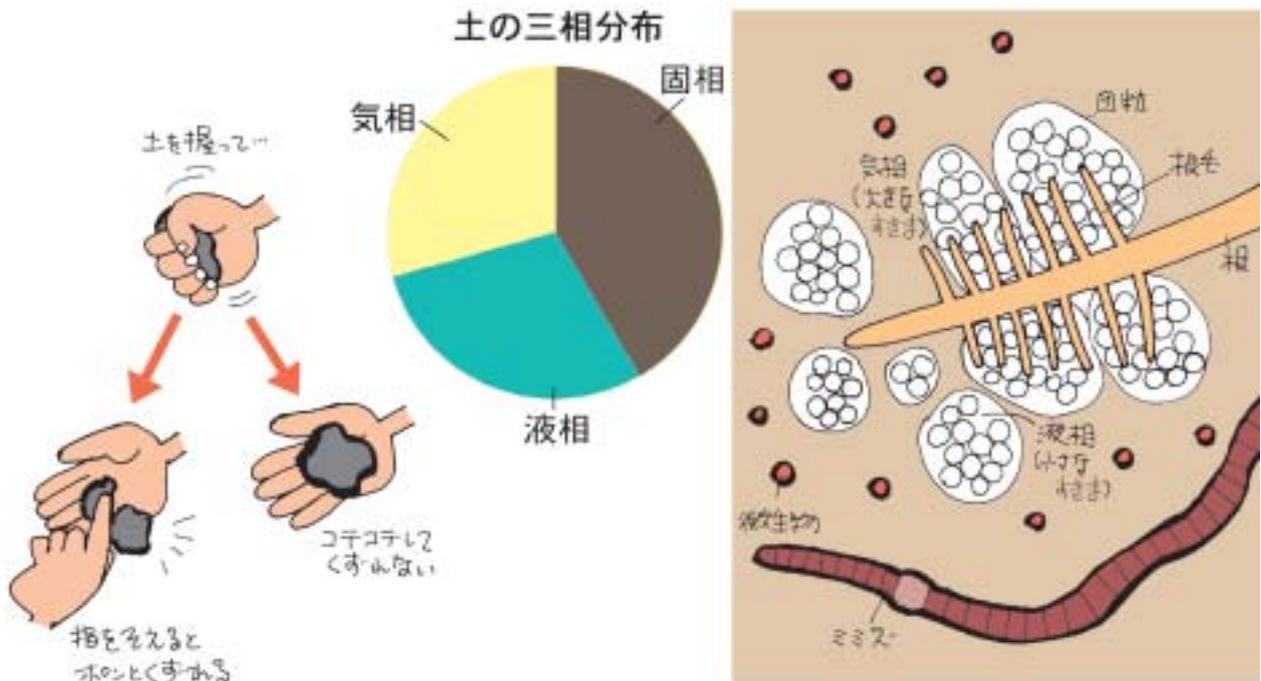


6

堆肥はどのくらい施したらいいか



根が好んで伸び、元気になる堆肥施用量は...

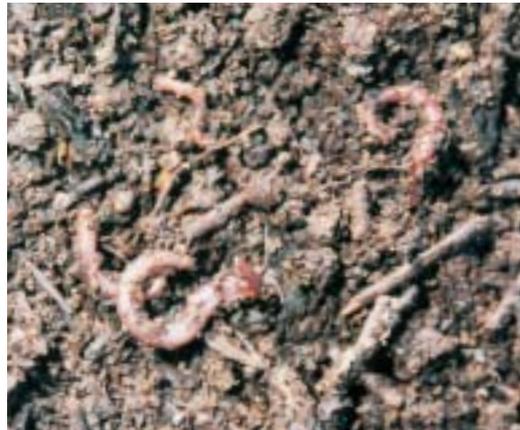
根を元気にする土 「お握り判定法」

堆肥を施す第一の目的は、活力ある根と根毛づくりです。根が元気になる土とは、保水性・通気性がともによい土で、そのめやすは三相分布すなわち固相（土の固体）・液相・気相のバランスが40 30 30の土です。木質の入った完熟堆肥は液相・気相をふやす物理性改善効果が高いので、このバランスを目標に堆肥を施す量を決めます。

三相分布は、土のお握りをつくってみるとおよその判定ができます。土に水をたっぷり注いで、下



土を握って堆肥施用量を判断、固まりができ、軽くふれるとくずれるのが保水性・通気性ともによい土



ミミズなど土壌小動物・微生物が活躍する土に